

調査報告会

RPAとの向き合い方
～効果・課題・工夫の観点から～（仮題）

日時:2022年2月22日(火) 15:00～15:45 入室14:45

会場:オンラインライブセミナー／翌日以降アーカイブ配信(要事前申込)

受講料:FISC会員及び子会社の役職員(※)無料

一般 1,000円、教育機関 500円(消費税込)

事前登録制

*動画視聴のみの
場合も申込が必要です

※FISC会員企業の子会社については、申込フォームの備考欄に「子会社」と記載し、子会社であることが確認できる、ディスクロージャー資料、有価証券報告書が掲載されているホームページURL、又はホームページ上記載にて確認できる資料等について、ご記入ください。(別途メールにて送付可。確認できない場合は、原則として受講をお断りさせていただきます。)
ご不明な点等、ございましたらご連絡ください。



15:00～15:05

FISCニュース 泉 晋 (調査部 部長)

当センターの調査研究活動についてご説明いたします。



15:05～15:45 (質疑応答含む)

RPAとの向き合い方

～効果・課題・工夫の観点から～（仮題）

講師:北村 道大 (調査部 主任研究員)

近年、さまざまな金融機関において、RPA(Robotic Process Automation)の導入が進んでいます。RPAは、定型業務の自動化など、業務効率を高め、生産性の向上を図るうえで有用なツールとされている一方、利用先からは「実効性の維持等を図るうえで、どのような工夫や対応策を講じればよいか」、との声も聞かれるところです。

本調査では、RPA導入後、一定の効果を上げている金融機関の取組事例を手掛かりに、効果を継続的に確保するうえで必要と考えられるポイントなどをご紹介します。【2月 調査レポート公表予定】

- ▶開催方法：LIVE配信 WebexEvents使用
- ▶申込方法：1月13日より、当センターホームページ（<https://www.fisc.or.jp>）からお申込み下さい。別途、当日午前中までに、WebexEventsより招待メールを送付させていただきます。
- ▶動画配信：後日、動画配信いたします。アーカイブ配信視聴の場合も、お申込みが必要です。
※ご視聴にはPWが必要となります。セミナー終了後、視聴用PWをメールにて送付させていただきます。